

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成29年度福井県公共工事入札監視委員会（第2回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

1 日 時 平成29年9月1日（金） 9:30～11:30

2 場 所 県庁10階 審問廷

3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・入札および契約に係る制度の運用について
- ・抽出事案審議
- ・談合その他の不正行為に関する事項について

(3) その他

(4) 閉会

5 会議概要

(1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

- ・契約件数、落札率の状況について説明
- ・指名停止の運用状況について説明
- ・総合評価落札方式の実施状況について説明

(2) 抽出事案審議（事前に藤井委員が抽出）

ア 橋梁補修工事（防災・安全交付金）H29その2工事

Q 応札した業者の所在地はどの業者も工事場所までの距離は変わらないようだが、地域要件で加点が異なるのはなぜか

A 工事施工場所は三国土木事務所管内であるため、施工市町、三国土木事務所管内に所在地がある業者に加点されるようになっているためである。

イ 平成29年度経営体育成基盤整備事業（ほ場）小羽地区第1号工事

Q 整備後は畑、水田どちらでも利用できるのか。

A 今回の工事で水はけが良くなるよう整備を行い、今後、水田、畑どちらでも利用できるようになる。

ウ 平成29年度 スポーツ・体験観光促進事業 六呂師高原地区第1号工事

Q 1者入札となった理由は何が考えられるのか。

A 同時期に発注したスキー場の管工事との工事の調整を考慮すると工期的に難しかったことと、スキー場の勾配のある場所に人工スキー用の人工芝を張り巡らせるという工事は県内でも例がなく、今回初めての施工となるため、技術的な面で業者が敬遠したのではないかと考えられる。

Q 人工芝の購入にあたり、販売業者と協定等結んでいるのか。販売業者はどこのか。

A 協定は結んでいない。販売元は福井県内の業者である。

エ 県営第一工業用水道事業配水管制水弁更新工事 その1

Q 独立採算性というのは、どのようなものか。

A 場所によって配水しやすいところ、難しいところがあるため、事業者には受益者負担していただくという観点からブロックごとに単価を設定し、独立採算性としている。県としても配水することをお約束している以上、事業所に損失を与えないよう適正に工事等を行っている。

Q スクラップ控除とあるが、何か。金額が低くはないのか。

A 工事した際に切断し不要となった金属について、(資源として) 買い取ってもらう価格であり、今回わずかに出た量を積算したため、金額が低い。

オ (県単) 道路改良工事 調査・設計業務委託

Q 委託業務の総合評価はいつから始まったのか。

A 平成23年7月である。

Q 主たる営業所の所在地による加点が効いている印象がある。県内業者に業務をとってもらい、能力のある業者を確保することと、県外業者が入り競争性が確保されることとどちらも重要ではある。試行開始より年数が経過しており、そろそろ制度について、検討の余地もあるのではないか。

A どちらの視点も大事であり、難しい点ではあるが、制度の検討については今後も継続して行う必要があるという認識でいる。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が2件あったが、談合の事実があったとは認められなかったことを報告

(4) その他

特になし